

肺や胸部のがん

担当診療科：呼吸器内科、呼吸器外科

代表的な対象疾患：肺がん

◇2020年の診療実績（2020年1月1日～12月31日）

がん	呼吸器内科 新規患者数	呼吸器外科 新規患者数
肺がん	162	122
転移性肺腫瘍	0	33
胸腺腫	2	11

（症例数には一部に呼吸器内科、呼吸器外科の両科で診療を受けられた重複例が含まれます）

◇専門医、認定医、認定看護師等

<呼吸器内科>

日本内科学会 総合内科専門医	4名
日本呼吸器学会 呼吸器専門医	8名
日本呼吸器内視鏡学会 気管支炎専門医	2名
日本アレルギー学会 アレルギー専門医	1名
日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医	2名
日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法指導医	1名
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医	7名

<呼吸器外科>

日本外科学会 指導医	2名
日本外科学会 外科専門医	9名
日本呼吸器学会 呼吸器専門医	1名
日本胸部外科学会 呼吸器外科専門医	5名
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医	4名

◇臨床試験の実施状況（試験数）（2021年9月3日現在）

呼吸器内科 9件

呼吸器外科 0件

◇肺癌外科治療のポイント

- 1, 早期がんに対しては高精細モニター胸腔鏡システム及び手術支援ロボットを用いた鏡視下手術で身体にやさしく根治をめざし、局所進行がんには呼吸器内科・放射線科と連

携し手術・化学療法・放射線治療を組み合わせた集学的治療を行います。また、必要に応じて心臓血管外科チームや麻酔科の協力による拡大根治手術も行います。

2. 胸腺腫は低悪性度の胸腺上皮性縦隔腫瘍で、完全切除により治癒が期待でき、また肺がんと異なり播種を伴った4期症例でも切除により長期生存が期待できる腫瘍です。そして、術後播種再発は再切除適応になることが少なくありません。時に、胸腺腫は重症筋無力症や赤芽球癆、低ガンマグロブリン血症などの自己免疫疾患を合併します。神経内科や免疫内科と連携しながらできるだけ安全な周術期管理を行います。

関連診療科ホームページ 呼吸器内科：<http://kokyu-kpum.com/>

呼吸器外科：<http://www.f.kpu-m.ac.jp/k/thoracic/>